

事業番号	07 06 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	産業人材育成支援事業	部局	産業労働部	課・室	産業人材育成課		
		実施期間	S46 ~	E-mail	jinzai @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・将来の県内産業の担い手を確保するためには、早い段階から地域の産業や企業の魅力を伝え、長野県で働く魅力を実感してもらうための広域的なキャリア教育の取組が必要。
- ・県内では、社会人が働きながら主体的に学べる場が限られているほか、学び直しを促進するためには、企業側のリカレント・リスキリング教育に対する意識を高める必要。
- ・多様な働き方の進展や成長期待分野であるデジタル分野への労働移動を促進するためには、デジタル人材育成が急務。
- ・労働者の技能水準向上のため、技能検定制度及び認定職業訓練の浸透が必要。

2 事業目的

人生100年時代における職業人生の長期化や少子高齢化の本格化に伴う生産年齢人口の減少が進む中でも、持続的な県内経済・県内産業の発展を図るため、「学び」により一人ひとりが職業能力を高め、社会経済環境の変化に適応できる産業人材を育成するとともに、キャリア教育の推進により、将来の県内産業の担い手確保や女性・若者から選ばれる県づくりを目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①産学官連携によるキャリア教育の推進**
- ・【拡】子どもの頃から地域の産業や企業の魅力を伝えるため、高校生を対象とした県内IT企業へのインターンシップなど、小学生～高校生までのそれぞれのステージで職業体験の機会を提供。
 - ・【新】地域における産業や企業の魅力を子どもたちに伝える取組を推進するため、意識醸成を図るセミナーや地域ごとの検討を行うほか、県内で実施される地域産業展等への児童・生徒の見学、訪問活動を支援。
- ②デジタル分野をはじめとするリカレント・リスキリングの推進**
- ・各種研修講座や職業訓練から就職に至る支援制度までの情報をワンストップで提供し、リカレント・リスキリングに対する意識を高めるため、社会人学びの総合ポータルサイトを運営。
 - ・成長が期待されるIT分野での正社員就職や、支援対象者が希望する多様な働き方の実現をサポートするため、「デジチャレ信州事業」により、ITスキルを習得するための職業訓練やインターンシップの提供と再就職支援を一体的に実施し、求職者等を支援。
 - ・【新】企業のDX化を推進するため、企業DX推進人材育成講座事業により、県内中小企業の経営者・現場リーダー等を対象に、企業内のDX推進に向けたDX講座を実施。
- ③労働者の技能向上・職業能力開発を支える社会づくり**
- ・一定の基準（訓練生数等）を満たす訓練を行う中小企業事業主等を支援するため、認定職業訓練助成事業により、運営費等を補助。
 - ・労働者の技能を公証する国家検定制度（技能検定）を実施するため、技能検定実施事業により県職業能力開発協会に対し、検定実施に要する経費等を補助。

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	県関与の職業・産業体験活動への児童・生徒の参加者数	人	—	—	—	—	—	—	3,970	△	各事業の定員数、参加者見込み数を基に目標値に設定。順次増加し、R9までに2倍を超える8,000人程度の参加者数を目標とする。
②-1	社会人学びの総合ポータルサイト閲覧者数	人	—	—	—	20,000	—	—	20,000	△	R5見込みと同様に、閲覧者数20,000人を目標とする。
②-2	デジタル人材の育成人数	人	—	62	—	150	↑	—	220	△	2事業（企業DX推進人材育成講座事業・デジチャレ信州事業）でデジタルスキルを習得した者の数を目標値に設定。2事業の定員が合計220人であることから、育成人数220人を目標とする。
③-1	認定職業訓練修了者数 （普通課程・短期課程）	人	1,138	1,178	↑	1,277	↑	—	1,380	△	R4実績とR5見込値を比較した増加分とほぼ同数の増加を見込み目標値とする。
③-2	技能検定受検者数（全体）	人	5,616	4,800	↓	4,900	↑	—	4,900	△	R4の実績とR5の見込値の平均を上回る4,900人を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況					目標		
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
2-1③	産業人材の育成・確保	県関与のリカレント(リスキリング)講座・訓練の受講者数 (2023～2027年度の累計)	人	2020 (R2)	1,906	2021 (R3)	2,384	2022 (R4)	2,726	2027 (R9)	20,000
3-1②	デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現	県関与のデジタル分野の講座・訓練の受講者数(2023～2027年度の累計)	人	2020 (R2)	683	2021 (R3)	1,125	2022 (R4)	2,006	2027 (R9)	9,000

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等					
R6年度	予算案		253,954		253,954	100,832		4.0
	要求		255,455		255,455	101,608		
R5年度		14,922	252,031	0	266,953	97,870		4.0
R4年度		0	240,527	6,498	247,025	101,779	221,875	4.0
予算要求からの 主な変更点	「企業DX推進人材育成講座事業」において、委託期間を精査（12か月から10か月に変更）し、委託事業に係る人件費を削減。							

事業番号	07 06 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	産業人材育成支援事業		部局	産業労働部	課・室	産業人材育成課

細事業No.	細事業名	R4年度当初予算	R5年度当初予算	R6年度当初予算	
1	産業人材育成事業費	98,107 千円	108,491 千円	予算案 115,300 要求 116,801 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「はたらく」を学ぶ信州職業体験フィールド展開事業（児童・生徒に対する職業体験機会の提供）	負担金委託	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに地域産業や企業の魅力を伝えるため、「ジョブキッズしんしゅう」事業（小学生対象）や「地域と未来をつなぐゼミ事業」（中学生等対象）により職業体験機会の提供や企業の魅力等を紹介する講座を開催 【新】将来の地元IT企業を支える人材を確保するため、高校生を対象に、県内IT企業へのデジタルインターンシップを実施 職業体験アトラクション提供企業数（ジョブキッズしんしゅう）：40企業 講座開催校数（地域と未来をつなぐゼミ）：19校 デジタルインターンシップ受入企業数：4企業		
2	「はたらく」を学ぶ信州職業体験フィールド展開事業（地域における取組の推進）	直接委託補助金	<ul style="list-style-type: none"> 【新】子どもたちに産業・企業の魅力を伝える地域の主体的な取組を推進するため、産学官関係者向けのセミナー等を実施 【新】県内で実施される広域レベルの地域産業展等への児童・生徒の見学、訪問に活用するバス等の借上げ料を補助 セミナー開催数：1回、補助団体数：5団体		
3	社会人学びの総合ポータルサイトの運営、総合相談窓口の設置	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> 社会人学びの総合ポータルサイトの研修情報、動画、記事の追加及び広報 企業ニーズ調査 研修情報新規掲載数（見込）：約4,500件/年		
4	デジチャレ信州事業	委託	求職者等を対象に、ITスキル習得のためのオンライン・インターンシップ型職業訓練と再就職支援（職業紹介、マッチング）を一体的に行い、IT業界での正社員就職や支援対象者が希望する多様な働き方を支援 実施コース種数：3種		
5	企業DX推進人材育成講座事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> 【新】県内中小企業の経営者・現場リーダー等を対象に、企業内のDX推進に向けたDX講座を実施 講座開催回数：4回		

細事業No.	細事業名	R4年度当初予算	R5年度当初予算	R6年度当初予算	
2	認定職業訓練助成事業費	64,252 千円	66,517 千円	予算案 67,163 要求 67,163 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	認定職業訓練助成事業	補助金	認定職業能力開発校の運営費・設備整備に要する経費に対する補助（国1/3、県1/3） 補助対象団体数：19団体		

細事業No.	細事業名	R4年度当初予算	R5年度当初予算	R6年度当初予算	
3	技能検定実施事業費	78,168 千円	77,023 千円	予算案 71,491 要求 71,491 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	技能向上対策費補助金	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 長野県職業能力開発協会に対する補助 若者の技能検定受検手数料の減免 補助対象団体数：1団体 若者の技能検定受検手数料の減免者数（見込）：500人		
2	技能検定の実施	直接	技能検定合格証書等の作成・交付等 R6技能検定（定期）実施回数：2回（前期、後期）		